別紙様式１

**役　員　兼　業　許　可　申　請　書**

|  |
| --- |
| 元号　　年　　月　　日国立大学法人　千葉大学長　殿申請者氏名　　　　　　　　　□技術移転兼業下記について，兼業規程に基づき　 □研究成果活用兼業　の許可を申請します。□監査役等兼業 |
| **１　所属等** |
| 所属 |  |
| 職名 | □教授　□准教授　□講師　□助教　□助手　□その他（　　　　　　　） |
| **２　申出前２年間の在職状況** |
| 職　　名 | 在　職　期　間 | 職　務　内　容 |
|  | 自元号　 年 月 日至元号　　年 月 日 |  |
|  | 自元号　 年 月 日至元号　　年 月 日 |  |
| **３　兼業予定先** |
| 兼業先の名称 |  |
| 所在地 |  |
| 役員構成及び構成員の人数[[1]](#endnote-1) |  |
| 資本金 |  |
| 事業の内容（役員兼業に係る事業以外の事業を含む。） | （技術移転兼業の場合に選択）　□ 承認事業　　□ 大学認定事業　 |
| 兼業先の親会社 | 親会社の　有・無　　名称： 所在地：事業内容： |
| （監査役等兼業の場合に記入）親族による株式会社等の経営への強い影響力の有無 | 有・無 |
| **４　職務内容等について** |
| （監査役等兼業の場合は省略できる。） | 職名：□ 役員(名称)　　　　　　　　　 　□ 顧問　　□ 評議員（代表権：　有・無 ）　　（業務担当：　有・無 ）職務内容[[2]](#endnote-2)：役員兼業へのかかわりの程度[[3]](#endnote-3)： |
| 兼ねようとする役員等としての折衝業務 | 本学に対する契約の締結の折衝又は検定，検査等の申請に係る折衝の業務（研究成果活用事業に関係する業務を除く。） 有・無（研究成果活用兼業の場合に記入） |
| 報酬等[[4]](#endnote-4) | 報酬予定年額　　　　　　　　円　その他：　　　　　　　　　　　　　　 |
| 役員等の職務への予定従事時間 |  平均して，１月　　日　　１日　　時間　　週のべ　　時間 |
| 役員等の任期及び兼業予定期間 |  （任期：無・有　　　　年 ）元号　　年　　月　　日　から　元号　　年　　月　　日まで |
| **５－１（技術移転兼業） 技術に関する研究成果又はその移転についての知見及びその内容****５－２（研究成果活用兼業） 自らの創出による研究成果であって，研究成果活用企業が事業において活用することを予定しているものの内容****５－３（監査役等兼業） 職務に関連して有している株式会社等の監査役等の職務に従事するために必要な知見の内容**※図表等参考資料がある場合は別添可 |
|  |
| **６　職務の遂行への支障の有無** |
|  |
| **７　現在の職名又は申出前２年以内に占めていた職名と兼業先（親会社を含む。）との関係[[5]](#endnote-5)** |
|  |
| **８　その他職務の公正性及び信頼性の確保への支障の有無** |
|  |
| **９　その他参考事項** |
|  |
|  　上記の兼業を許可する。元号　　年　　月　　日国立大学法人　千 葉 大 学 長　　　　　　　　　　　　　　　　 |

1. 欄３ 役員構成及び構成員の人数：兼業先企業における申請日時点での役員構成と、構成員の人数を記載する。 [↑](#endnote-ref-1)
2. 欄４ 職務内容：兼業先企業での職務内容を具体的に記述する。 [↑](#endnote-ref-2)
3. 欄４ 役員兼業へのかかわりの程度：兼業先企業の事業活動にどのように関わるのか記述する。 [↑](#endnote-ref-3)
4. 欄４ 報酬等：役員報酬以外に，金銭，物品及びその他財産上の利益を得る予定がある場合は，「その他」欄に種類と予定金額を記入する。その際，金銭を受領する予定であるときはその額を，金銭以外の財産上の利益を受領する予定である場合はその利益を時価に見積もった金額を記載する。 [↑](#endnote-ref-4)
5. 欄７：本務と兼業先との間に特別な利害関係又はその発生のおそれがあるかを記述する。 [↑](#endnote-ref-5)